

三春病院における新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症対策として、これまで当院で取り組んできた対応をご紹介します。三春町をはじめ田村地域の方々が必要な治療や検査を受けることができるよう進めています。（令和2年5月25日現在）

入院病床の確保について



県中保健所からの要請を受け、公的病院の役割として感染症指定医療機関が満床になった際に最大3床の患者受け入れを承諾しました。院内感染予防対策として、陰圧室1床の整備（写真1）や、HEPAフィルター付き空気清浄機の整備（2床）を行いました。さらに一般の患者様と接触しないように導線を決め、病棟内の壁の設置を行いました。院内の関係スタッフで入院患者対応のシミュレーションを行いました。（写真2）

病院内でコロナ患者の受け入れ準備を進めることとなったため、星総合病院のCOVID-19対策チームの医師、感染管理認定看護師より全職員対象に感染対策の研修会を2回開催しました（写真3）。

三春町との連携により、三春病院で入院患者の対応をした後自宅に戻れない看護師を対象に、三春町の宿泊施設を無償で提供いただいております。現在でも新型コロナウイルス感染症疑いのある患者さんが入院した際に利用させていただいております。



【写真1】陰圧室の整備



【写真2】
入院・外来受診シミュレーション



【写真3】COVID-19対策委員医師による
感染症対策研修会開催



外来診療について



田村地域の医療機関で PCR 検査が必要と判断された場合に、当院で PCR 検査を受ける体制を整備し、4月13日より受け入れを行っております。現在は月・火・水・金（第4金曜日を除く）の午後に PCR 行政検査を行っております。一般外来患者さんとは接触しないよう、患者様には車で待機していただき、病院長が車まで伺い PCR 検査を行います（写真4）。医療機関や保健所と情報交換を密にし、連携が深まっています。臨床検査技師が検体を保管し、保健所へその都度提出しています（写真5）

外来では患者さんと接する場所はフィルムを貼り、発熱者が待機で利用する風除室は外から見えないように工夫しました。（写真6）また、再診による外来受診では電話による診察も実施しています。

5月より当院へ来院されるすべての方を対象に、正面玄関で検温を実施しています。（写真7）搬入業者等については、病院の裏口でも検温できる体制を作っており、院内への菌の持込を予防しています。感染対策の為の個人防護具の確保が厳しい中、使用后廃棄できるよう安価で安全なフェイスシールドを職員で手作りして感染対策を行っております。



【写真4】病院長が PCR を行う様子
（この写真はイメージです）



【写真5】検査室で保健所職員へ
検体を提出します。



【写真6】風除室（待機場所）



【写真7】正面玄関でのサーモカメラによる検温実施

その他



1) Johnny' s Smile Up! Project (ジャニーズ スマイルアッププロジェクト)

ジャニーズ事務所で行っている支援活動から、当院へ医療物資の支援をいただきました。メッセージカードには感謝と応援メッセージが書かれていて、スタッフ一同スマイルアップしました！（写真8）

2) 田村地域公立3病院+星総合病院連携会議を開催

当院とたむら市民病院、公立小野町地方総合病院の病院長や看護部長、事務長が定期的集まって行っている会議に、星総合病院の病院長や連携部長（小林先生）、COVID-19 対策委員長（佐久間先生）、看護部長を交えて、各施設の役割と連携について協議を行いました。それぞれの機能を活かしながら、患者中心の医療について有意義な議論が持てました。（写真9）



【写真8】 ジャニーズ事務所からのメッセージカードと共に。



【写真9】 公立3病院+星総合病院連携会議開催